

のため、ドメインにGPOをリンクした場合、ドメイン内のすべての組織単位に対してGPOは適用されます。例えば図8.12の場合、HR組織単位のユーザーは、継承の機能によってドメインにリンクされているGPO-Aを適用します(もちろん、HR組織単位にリンクされているGPO-Bも適用します)。一方、Sales1組織単位のユーザーは、継承の機能によってドメインとSales組織単位にリンクされているGPO (GPO-AとGPO-C)、さらには自身の組織単位にリンクされているGPO-Dを適用します。

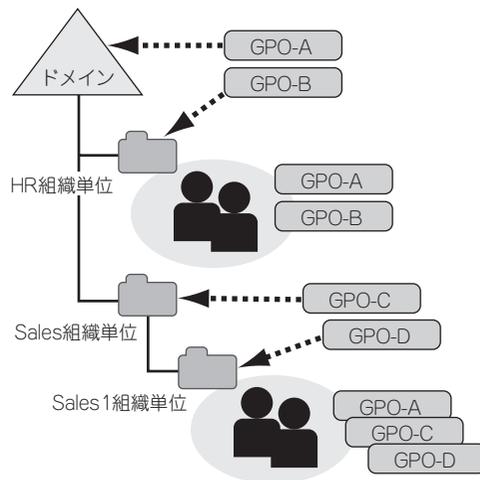


図8.12 継承のイメージ

ただし、GPOはフォレスト内のドメイン間で継承することはありません。つまり、親ドメインでリンクされたGPOが子ドメインに適用されることはありません。

■ GPO設定の競合解決方法

サイト、ドメイン、組織単位のオブジェクトにリンクできる数に制限はありません。また、一つのGPOは複数のオブジェクトにリンクすることができます。このように制限なくリンクの設定ができると、一人のユーザーまたはコンピュータに複数のGPOが適用される可能性があります。GPOそのものは複数適用することは可能ですが、適用されるGPOに相反する設定が含まれていると、競合が発生する可能性があります。グループポリシーは、サイト、ドメイン、組織単位の順で適用され、競合する設定がある場合には後から適用されたGPOによって上書きされます。そのため、GPO設定は組織単位、ドメイン、サイトの優先順位で適用されることになります(図8.13)。

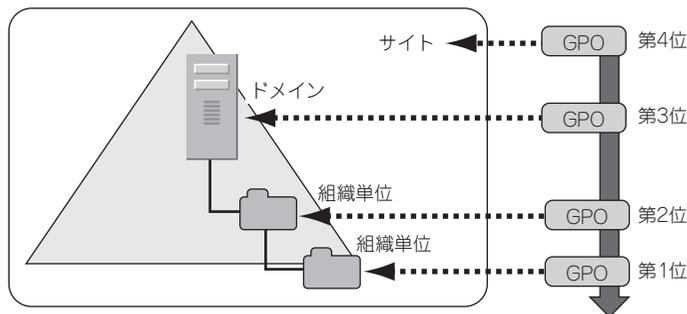


図8.13 リンクされたGPOの優先順位

■ 同じオブジェクトに複数のGPOがリンクされた場合

ドメインや組織単位などに、GPOを複数リンクすることも可能です。しかし、複数のGPOがリンクされると、競合が発生する場合があります。もし競合が発生するときには、あらかじめ決められた優先順位に基づいてGPOの設定が適用されます。優先順位はドメインや組織単位などのオブジェクトを選択すると、中央ペインで表示される一覧で優先順位を確認・設定することができます(図8.14)。



図8.14 同一オブジェクト内のGPO優先順位

8

■ GPO設定が適用されるタイミング

GPOの設定にはコンピュータに対する設定と、ユーザーに対する設定があります。コンピュータの設定はコンピュータが起動するタイミングで適用され、ユーザーに対する設定はユーザーがログオンするタイミングで適用されます。どちらのグループポリシーもレジストリを直接書き換えるわけではないので、コンピュータが起動するタイミング、またはユーザーがログオンするタイミングで毎回グループポリシーの設定が適用されます(図8.15)。

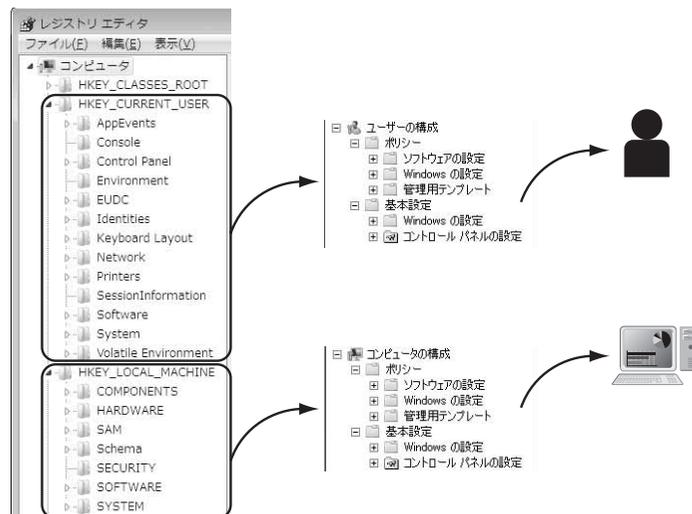


図8.15 グループポリシー適用イメージ

GPOの設定は初回の適用後、60～120分の間隔で再適用します(ドメインコントローラは5分間隔)。もし管理者がGPOの設定を変更した場合、60～120分後には変更内容が適用されることになります。ただし、テスト目的などでGPOに設定した内容を今すぐ適用させたい場合、次のコマンドをクライアントコンピュータで実行します。

```
gpupdate /force
```



参考

コンピュータの構成とユーザーの構成

前述したように、GPOの「コンピュータの構成」はコンピュータに適用され、「ユーザーの構成」はユーザーに適用されます。そのため、コンピュータの構成を設定したGPOを組織単位にリンクしても、その組織単位にユーザーオブジェクトしか存在しない場合、そのGPOが適用されることはありません(図8.16)。

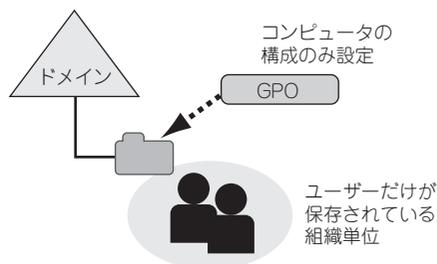


図8.16 GPOが適用されるコンピュータは組織単位にない

8.2.2 グループポリシー継承の例外 – 継承のブロックと強制

GPOの設定は組織単位、ドメイン、サイトの優先順位で適用されることを説明しましたが、この優先順位で適用したくない場合があります。そのときには、「継承」をカスタマイズすることで思いどおりのグループポリシー設定を適用させることができます。カスタマイズ方法についてはいくつかの方法がありますが、「継承のブロック」と「強制」の概念について説明します。

■ 継承のブロック

「継承のブロック」は文字通り継承を行わないようにする設定です。親のオブジェクトで設定された内容を適用せず、自身のオブジェクトにリンクされたGPOだけを適用させたい場合に使います(図8.17)。

「継承のブロック」設定は、オブジェクト単位で設定します。それでは、Sales組織単位で継承しない設定を行う方法について解説します。

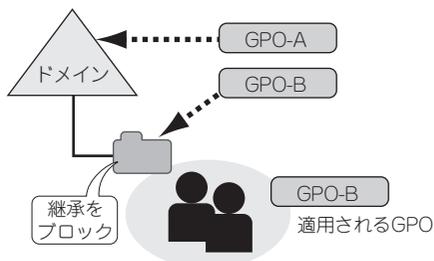


図8.17 GPOの継承のブロック



操作

- 1 「サーバーマネージャ」の左ペインから「機能」－「グループポリシーの管理」－「フォレスト」－「ドメイン」－「<ドメイン名>」の順にクリックし、継承をブロックする組織単位をクリックします。

ここでは、Sales組織単位をクリックします。

- 2 継承をブロックする組織単位を右クリックし、「継承のブロック」を選択します。

この操作により、組織単位に継承しない印が表示され、サイトやドメインに設定されたGPOがSales組織単位には継承されません(図8.18)。



図8.18 Sales組織単位で継承をブロックするように設定した状態



注意

もう一度、組織単位を右クリックし、「継承のブロック」を選択すると、継承するように設定できます。



強制

「強制」はリンクされたGPO設定がほかのGPOによって上書きされないようにするための設定です。例えば、ドメインにリンクされている設定を組織単位の設定によって上書きされないように強制したいときに使います(図8.19)。「継承をブロック」はオブジェクト単位での設定ですが、「強制」はGPOの単位で設定します。

それでは、ドメインにリンクされている Default Domain Policyに対して強制を設定する方法について解説します。

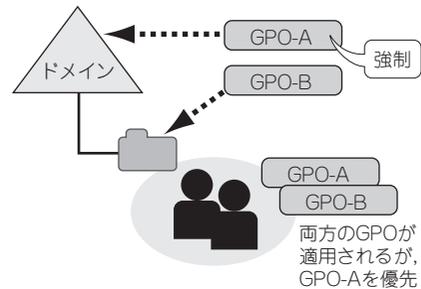


図8.19 GPOの強制



操作

- 1 「サーバーマネージャ」の左ペインから「機能」－「グループポリシーの管理」－「フォレスト」－「ドメイン」－「<ドメイン名>」の順にクリックし、強制を設定するGPOをクリックします。

ここでは、Default Domain Policyをクリックします。